

型名 DT-V9L3D

液晶マルチフォーマットモニター



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2、3ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

目次	
	ページ
安全上のご注意	2
その他のご注意	3
高温でのご使用について	3
お手入れのしかた	3
設置	4
スタンドの高さ調節	4
基本操作・接続	6
正面	6
背面	8
対応信号フォーマット	9
メインメニューの設定	10
セットアップメニューの設定	14
外部制御	16
外部制御の概要	16
MAKE/TRIGGER方式での外部制御	16
RS-232C方式での外部制御	18
故障かな?と思ったら	19
自己診断表示について	20
保証とアフターサービス	21
仕様	22
一般	22
入出力端子	22
外形寸法図	23

安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



禁止されていること



実行して欲しいこと



警告

表示された電源電圧 (AC 100 VまたはDC 12 V~17 V)以外で使用しない



通気孔をふさがない

- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さまの状態で使用しない



電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない



内部に物を入れない

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。



雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない



本機の上に水の入ったものを置かない



電源コードを傷つけない

- ・電源コードを加工しない
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- ・電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- ・電源コードを熱器具に近づけない



不安定な場所に置かない



風呂場などの水のある場所で使わない



本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない



動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。(P.22ページ「動作使用条件」)
本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。



警告

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。



次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。



注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない



電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない



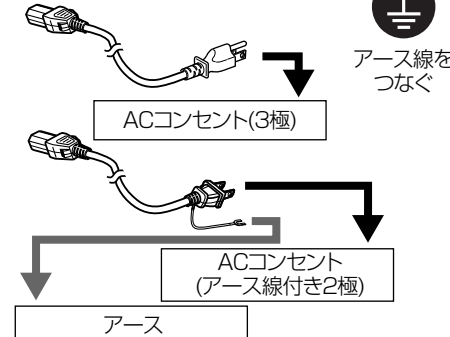
電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



●安全アースを接続する



安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

- ・ACコンセントが3極の場合
付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- ・ACコンセントが2極の場合
付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

付属の電源コード以外は
使用しない



禁止

付属の電源コードを他の
機器に使用しない



禁止

長時間使用しないときは、
電源プラグを抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

お手入れをするときは、
電源プラグを抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

移動するときは、電源
プラグや接続コード類
をはずす



プラグをコンセ
ントから抜く

電源コードを抜くとき
は、壁側のコンセントから
先に抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

AC電源の入/切について

本機は背面のPOWERスイッチでAC電源を入/切します。背面のPOWERスイッチを入/切できないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源を入/切できる遮断装置を屋内の配線に設置してください。



プラグをコンセ
ントから抜く



一般的
注意

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



禁止

スタンドに設置するとき
は、転倒・落下防止の処置を
する



一般的
注意

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。(参考例: 5ページ「転倒・落下防止のために」)

本機の上に重い物を置か
ない



禁止

本機の上に乗らない、
ぶら下がらない



禁止

液晶画面に衝撃を与えない
(ものを当てたり、先の尖った
もので突いたりしない)



禁止

長時間、音が歪んだ状態で
使わない



禁止

5年に1度は内部の点検を
販売店に依頼する



一般的
注意

液晶ディスプレイが破損し、
液状の内容物が流出して
皮膚に付着した場合は、流水
で15分以上洗浄してくださ
い。その後、医師に相談して
ください。



一般的
注意

その他のご注意

■ 高温での使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「TEMP. OVER」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

■ お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

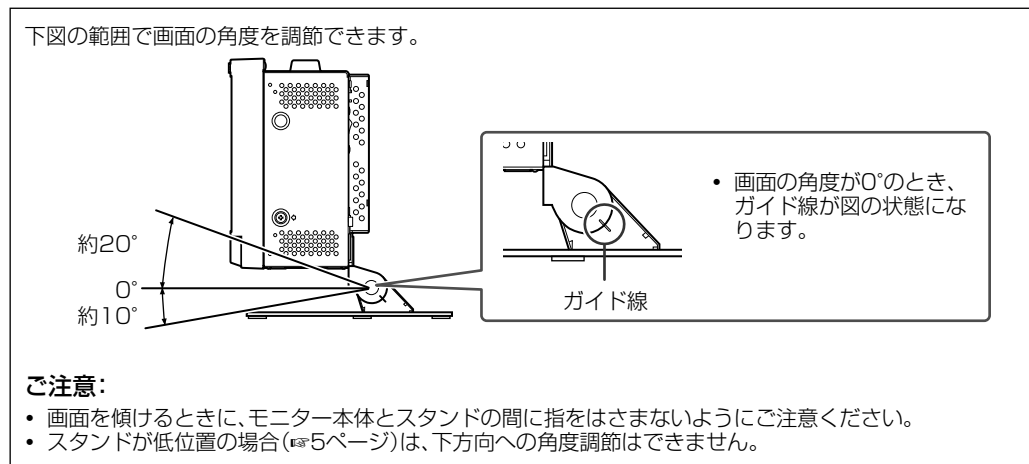
通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

ご注意:

- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

出荷時はスタンドが取り付けられています。



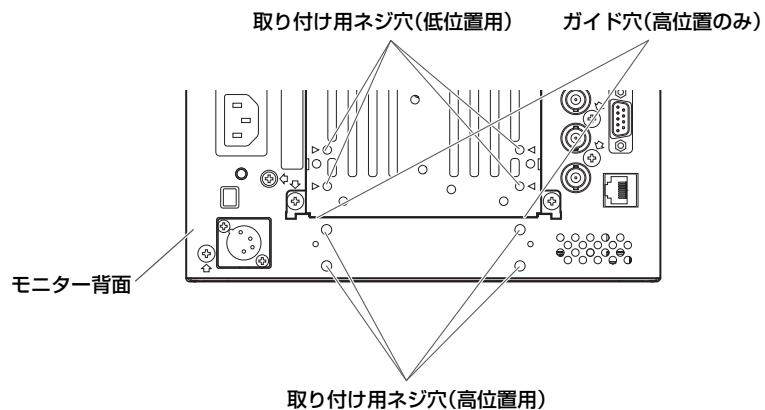
■ スタンドの高さ調節

スタンドは、モニター背面の高位置用または低位置用のネジ穴の、いずれかをえらんで取り付けられます。

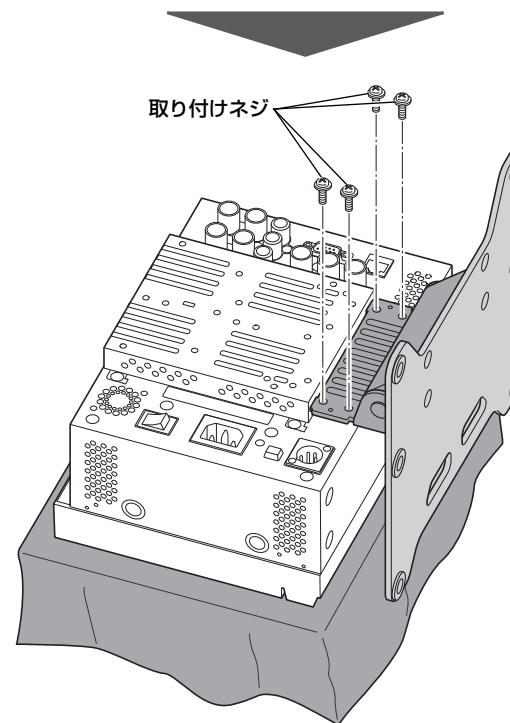
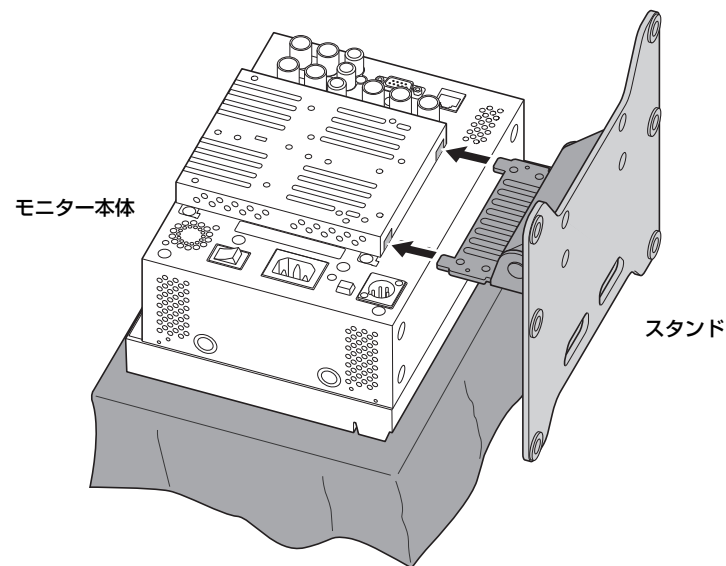
- 出荷時は高位置用に取り付けられています。
- スタンドの高さ調節は、画面の角度を0°にしてから行ってください。

ご注意:

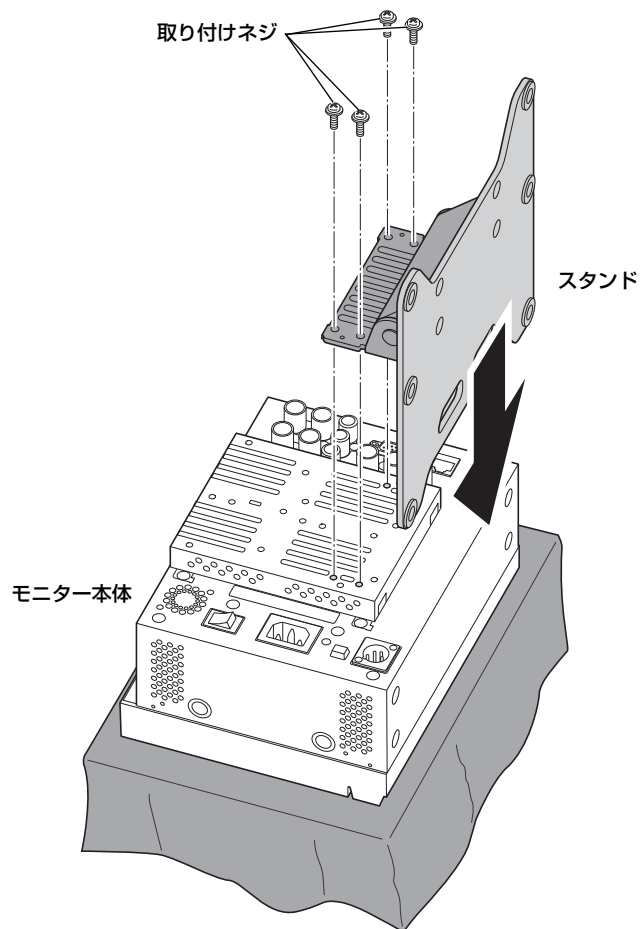
- 液晶パネルを傷つけないように、布などを敷いて行ってください。
- 外部バッテリーの種類によっては、外部バッテリーを取り付けたままでは、スタンドの取り付け・取りはずしができないことがあります。
- スタンドを低位置に取り付けると、外部バッテリーの種類によっては、外部バッテリーを取り付けられないことがあります。



高位置



低位置

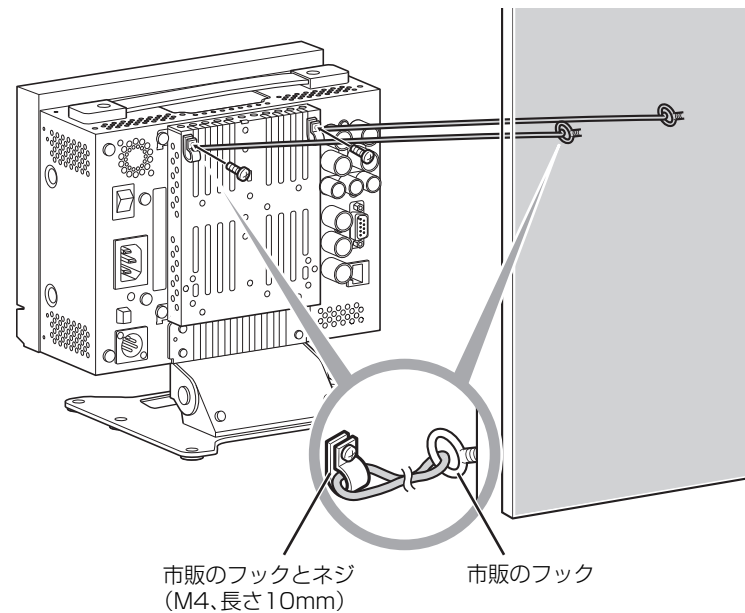


転倒・落下防止のために

本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント穴(100mmピッチ、上側2個)に、市販のフックとネジ(M4、長さ10mm)を取り付けます。取り付けしたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。



⚠ 注意

地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止処置を行なってください。

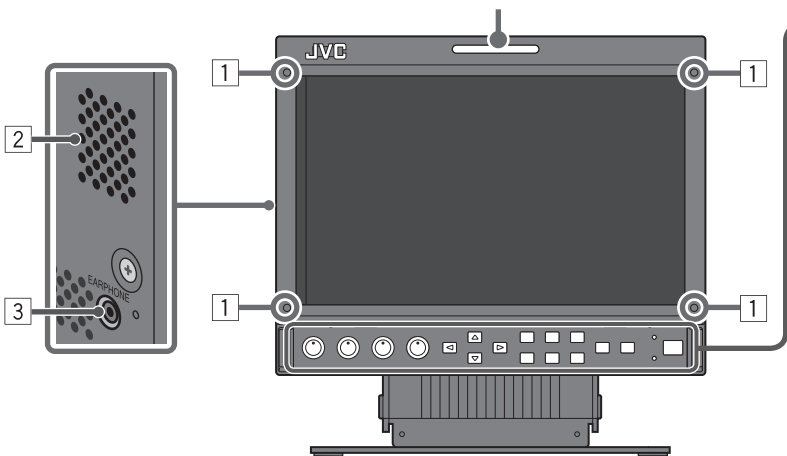
転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

■ 正面

タリーランプ

MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御。

- フォーマットインジケータとしても使用できます。(※14ページ「FUNCTION SETTING」の「FORMAT INDICATOR」)



- 1 保護フィルター(付属)取り付け用ネジ穴**
 - 付属のネジで保護フィルターを取り付けます。
 - 保護フィルターはくもっている面が表です(出荷時は、表側に保護フィルムとシールが貼ってあります)。
 - ご注意:**
 - 付属のネジ以外のネジを使用すると、モニターが破損することがあります。
 - 取り付けるときは、ネジをきつく締めすぎないでください。保護フィルターが破損することがあります。
- 2 スピーカー(モノラル)**

AUDIO (MONITOR OUT) OUT1 端子から出力される音声信号と同じ音声を出力。(※8ページ「AUDIO (MONITOR OUT) 端子」)
- 3 EARPHONE(イヤホン)端子(モノラル)**

イヤホンを接続すると、スピーカーから出力される音と同じ音を聞くことができます。
- 4 映像調節ノブ**

PHASE: 映像の色あい(色相)を調節。
CHROMA: 映像の色の濃さを調節。
BRIGHT: 映像の明るさを調節。
CONTRAST: 映像のコントラストを調節。

- 5 MUTINGボタン**

メニューが表示されていないときに、スピーカーの音を消音(ミュート)。

 - 解除するには、もう一度押すか、VOL. +/- ボタンを押します。
- 6 </>/△/▽ ボタン**

メニューが表示されているとき
項目を選択または調節。(※7ページ「メニューの操作」)

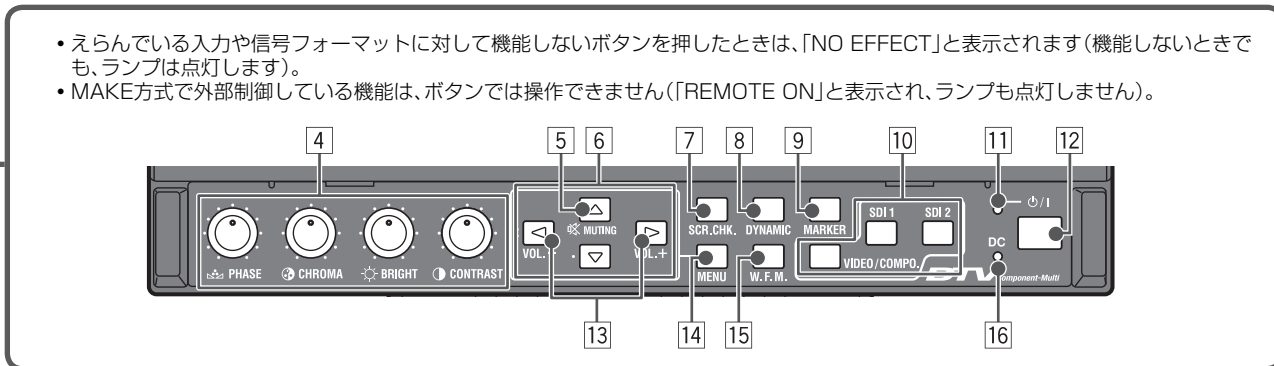
メニューが表示されていないとき
EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルを選択、または音量を調節。(※7ページ「音声チャンネルの選択」)

 - ▽ボタンを押しながら</>ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。(※7ページ「メニューの操作」)
- 7 SCR. CHK. ボタン/ランプ**

R、G、Bおよび輝度信号成分を単体で表示。

 - ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。

通常 → 輝度のみ → Rのみ → Gのみ → Bのみ



- えらんでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「NO EFFECT」と表示されます(機能しないときでも、ランプは点灯します)。
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません(「REMOTE ON」と表示され、ランプも点灯しません)。

- 8 DYNAMICボタン/ランプ**

明るい場所に適した映像にする。

 - オンのときは「BACK LIGHT」と「PICTURE SUB ADJ.」はメニューに表示されません。「BACK LIGHT」は、設定も無効になります。(※10、14ページ)
- 9 MARKERボタン/ランプ**

エリアマーカーとセーフティマーカーの表示/非表示。

 - マーカーの種類はメインメニューの「MARKER」で設定します。(※11ページ)
 - 「MARKER」で「OFF」に設定しているマーカーは表示されません。(※11ページ「お知らせ」)
- 10 入力ボタン/ランプ**

入力を選択。

VIDEO/COMPO.:
VIDEO/COMPONENT端子からの入力

SDI 1: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1) 端子からの入力

SDI 2: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2) 端子からの入力

 - えらんでいる入力のランプが点灯します。
 - 入力信号に合わせて「VIDEO/COMPO. SEL.」を正しく設定してください。(※10ページ)
- 11 電源ランプ**

消灯: 電源が完全に切れている状態(背面のPOWERスイッチおよびDCスイッチがオフ)

緑色: モニターがオン

オレンジ色: モニターがオフ(スタンバイ)

オレンジ色点滅: P.SAVE(省電力)モード(※13ページ「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」)
- 12 電源ボタン**

モニターをオン/オフ(スタンバイ)。

 - 背面に本機の電源スイッチ(POWERスイッチ、DCスイッチ)があります。(※8ページ「1」,「3」)
 - 本機の電源を完全に切るには、POWERスイッチとDCスイッチをオフにしてください。
- 13 VOL. +/- ボタン**

音量を調節。
- 14 MENUボタン**

メインメニューの表示/非表示。
(※7ページ「メニューの操作」)
- 15 W. F. M. (ウェーブフォームモニター)ボタン/ランプ**

波形モニターの表示/非表示。

 - 波形モニターはメインメニューの「WAVE FORM SETTING」で設定します。(※13ページ)
- 16 DCランプ**

DC 12V電源で使用しているときに、バッテリー残量の減少などによって電圧が低くなると、ランプの点灯が緑色からオレンジ色に変わります。電圧がさらに低くなると自動的に電源が切れ、赤色に変わります。

 - バッテリーを交換するときは、必ず背面のPOWERスイッチとDCスイッチをオフにしてください。
 - バッテリーの種類や消耗状態によって、オレンジ色で表示される時間は異なります。表示がオレンジ色に変わったなら、早めにバッテリーを交換してください。

メニューの操作

1 メニューを表示させる

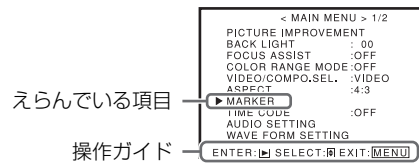
メインメニューを表示させるとき

→ MENU ボタンを押す

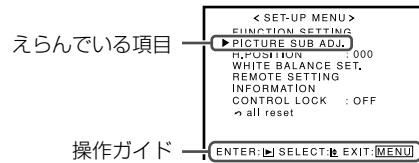
セットアップメニューを表示させるとき

→ ▽ ボタンを押しながら ◀ ボタンを押す

メインメニュー

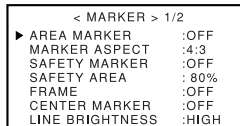


セットアップメニュー



2 △▽ ボタンで項目をえらび、▷ ボタンで次の画面へ進む

・項目によっては、◀▷ボタンを押して設定します。



(例) メインメニューの「MARKER」をえらんだとき

3 △▽ ボタンで項目をえらび、◀▷ ボタンで設定する

4 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

・メニュー画面の表示が消えるまで、MENUボタンをくり返し押します。

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカーおよびAUDIO (MONITOR OUT) OUT1/OUT2端子から出力する音声チャンネルをえらびます。

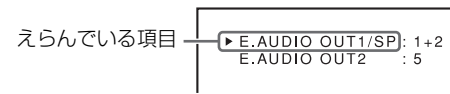
- ・本機のスピーカーからは、AUDIO (MONITOR OUT) OUT1端子から出力されるのと同じ音声信号が出力されます。
- ・SDI 1とSDI 2のそれぞれの入力ごとに記憶されます。

1 メニューを表示していないときに◀または▷ボタンを押す

音声チャンネル選択画面が表示されます。

- ・音声チャンネル選択画面は、約30秒間にも操作しないと、自動的に消えます。

音声チャンネル選択画面



2 △▽ ボタンで設定したいチャンネルをえらぶ

- ・E.AUDIO OUT1/SP: AUDIO (MONITOR OUT) OUT1端子およびスピーカー
- ・E.AUDIO OUT2: AUDIO (MONITOR OUT) OUT2端子

3 ◀▷ ボタンで音声チャンネルをえらぶ

ボタンを押すごとに、音声チャンネルが以下のように切り換わります。
1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/
1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/
1G(1~4)/2G(5~8)/3G(9~12)/
1G+2G(1~8)/1-3G(1~12)

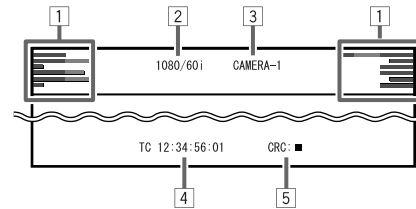
4 MENUボタンを押す

音声チャンネル選択画面が消えます。

情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。

- ・各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。



1 オーディオレベルメーター

- ・SDI入力で、入力信号がないとき、または「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは表示されません。

☞ 12ページ「AUDIO SETTING」、「お知らせ」

2 信号フォーマット

- ・「STATUS DISPLAY」が「ON」のとき表示されます。(☞ 15ページ「INFORMATION」)
- ・表示内容については、下記「信号フォーマットについて」および9ページの「対応信号フォーマット」をご覧ください。

3 「CHARACTER SET.」で登録した入力映像ソース名

- ・「SOURCE ID」が「ON」のとき表示されます。
 - ・「STATUS DISPLAY」が「OFF」または「AUTO」のときは、大きな文字で表示されます。
- ☞ 15ページ「INFORMATION」

4 タイムコード

- ・「TIME CODE」が「ON」のとき表示されます。(☞ 11ページ「TIME CODE」)
- ・入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC ---:---:---:---」と表示されます。

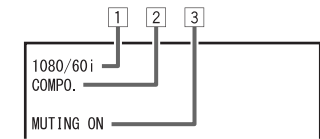
5 CRCエラー表示

- ・「CRC ERROR」が「ON」のとき表示されます。(☞ 15ページ「INFORMATION」)
- ・エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。

ステータス表示について

現在ランプが点灯している入力ボタンを押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

- ・ステータスの表示/非表示は、「INFORMATION」の「STATUS DISPLAY」で設定します。(☞ 15ページ)
- ・「STATUS DISPLAY」を「AUTO」または「ON」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
 - 入力を切り換えたとき
 - 現在えらんでいる入力の信号の状態が変わったとき
 - モニターをオンにしたとき
- ・「STATUS DISPLAY」を「ON」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマットのみ表示されます。



1 信号フォーマット

- ・表示内容については、下記「信号フォーマットについて」および9ページの「対応信号フォーマット」をご覧ください。

2 VIDEO/COMPO. SEL.の設定状態

☞ 10ページ

3 MUTING(消音)の設定状態

- ・消音時のみ表示されます。
- ☞ 6ページ「[5] MUTINGボタン」

信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

映像信号が入力されていないとき

→ 「NO SYNC」と表示されます。

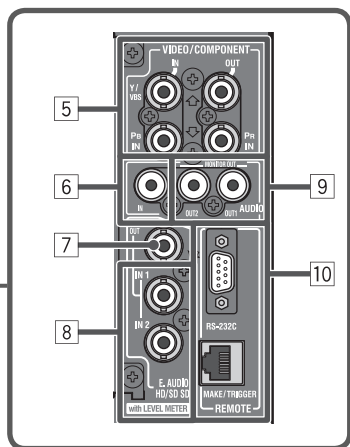
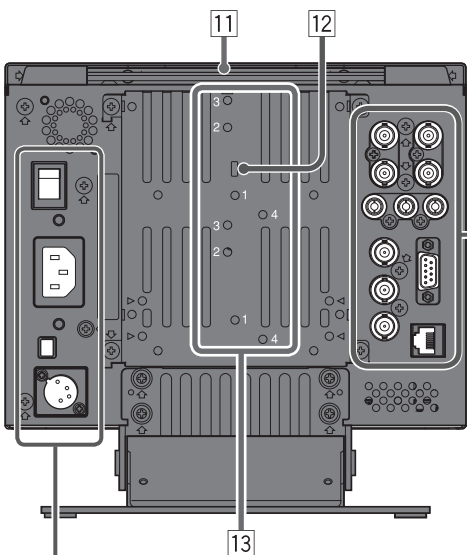
本機で対応していない映像信号が入力されたとき

→ 「Out of range」と表示されます。

「COLOR SYSTEM」(☞ 14ページ「FUNCTION SETTING」)が「AUTO」に設定されているときに、本機で対応していないコンポジット信号が入力されたとき

→ 「OTHERS」と表示されます。

■ 背面

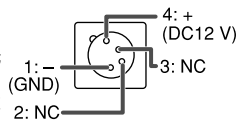


1 POWERスイッチ
AC電源をオン/オフ。
 • POWERスイッチをオンにしても、**⏻/⏪**ボタン(☞6ページ¹²)をオンにしないとモニターは動作しません。

2 AC IN端子
AC電源の入力端子。
付属の電源コード(3極または2極)を接続します。
 • 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞9ページ「電源コードホルダーの取り付けかた」)
 • 2ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」をよくご覧ください。

3 DCスイッチ
DC 12V電源をオン/オフ。
 • DCスイッチをオンにしても、**⏻/⏪**ボタン(☞6ページ¹²)をオンにしないとモニターは動作しません。
 • モニターがオフ(スタンバイ)のときでも、バッテリーはわずかですが消耗します。バッテリーの無駄な消耗を抑えるには、DCスイッチをオフにしてください。

4 DC IN 端子
DC 12V電源(最大DC 17V)の入力端子。
 • AC電源とDC 12V電源を両方接続しているときは、AC電源が優先されます。POWERスイッチをオフにするなどしてAC電源が切れると、DC 12V電源に自動的に切り換わります。



ご注意:
すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。

DC 12V電源(最大DC 17V)使用時は、DC IN端子のピン番号と信号を確認し、極性を正しくしてください。逆に接続すると、火災やけがの原因となることがあります。

5 VIDEO/COMPONENT端子(BNC)
IN: コンポジット信号(VBS)およびアナログコンポーネント信号(Y/Pb/PPr)の入力端子。
 • 入力信号に合わせて「VIDEO/COMPO. SEL.」を正しく設定してください。(☞10ページ)
 OUT: コンポジット信号(VBS)およびアナログコンポーネント信号(Y)の出力端子。

6 AUDIO(IN)端子(ピンジャック)
アナログ音声信号の入力端子。
 • SDIのアナログ音声信号は、この端子に入力します。

7 E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT) 端子(BNC)
HD/SD SDI信号の出力端子。
 • 現在えらばれているSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号がリクロックされて出力されます。
 • SDI入力以外の入力に切り換えたときは、最後にえらんだSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号が出力されます。
 • モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)のときのみ出力されます。

8 E. AUDIO HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子(BNC)
HD/SD SDI信号の入力端子。
 • サンプリング周波数48 kHz、1~12チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。

9 AUDIO(MONITOR OUT)端子(ピンジャック)
アナログ音声信号の出力端子。
 • AUDIO (IN)端子への入力信号またはE. AUDIO HD/SD SDI(IN 1またはIN 2)端子に入力されたEMBEDDED AUDIO信号を出力します。(☞7ページ「音声チャンネルの選択」)
 • モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)(☞13ページ「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」)のときのみ出力されます。
 • EMBEDDED AUDIO信号は...
 - アナログ音声信号にデコードして出力されます。
 - SDI入力(SDI 1またはSDI 2)がえらばれ、E.AUDIO HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。

10 REMOTE端子
本機を外部から制御するための端子。(☞16ページ「外部制御」)

11 キャリングハンドル
持ち運ぶときに使用します。

12 セキュリティスロット
セキュリティワイヤーの取付穴。

13 外部バッテリー取り付け用ネジ穴
DC 12V電源のための外部バッテリーを取り付けるネジ穴。
1、2、3、4のネジ穴のうちいずれかの穴(各2カ所)を使用して取り付けます。(バッテリーの種類によって異なります)
推奨バッテリー:
Anton Bauer製Dionic 90(マウント:QR DXC-M3A)

ご注意:
 • 24Vのバッテリーは使用できません。
 • 上記推奨バッテリー以外の重いバッテリーを取り付けると、モニターの使用状況によっては落下することがあります。

接続するときのご注意

- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをえらんでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

■ 対応信号フォーマット

本機は次の信号フォーマットを入力・再生できます。

ビデオ信号

○:入力可
—:入力不可

No.	名称	ステータス表示 (※7ページ)の信号 フォーマット	入力端子		E. AUDIO, HD/SD SDI ^{注1}
			VIDEO/COMPONENT		
			VBS (コンポジット)	Y/Pb/Pr (アナログコンポーネント)	
1	NTSC ^{注2}	NTSC	○	—	—
2	PAL	PAL	○	—	—
3	B/W50	PAL	○	—	—
4	B/W60 ^{注2}	NTSC	○	—	—
5	480/60i	480/60i	—	○	—
6	480/59.94i ^{注2}	480/59.94i	—	○	○
7	576/50i	576/50i	—	○	○
8	480/60p	480/60p	—	○	—
9	480/59.94p	480/59.94p	—	○	—
10	576/50p	576/50p	—	○	—
11	720/60p	720/60p	—	○	○
12	720/59.94p	720/59.94p	—	○	○
13	720/50p	720/50p	—	○	○
14	1080/60i	1080/60i	—	○	○
15	1080/59.94i	1080/59.94i	—	○	○
16	1035/60i	1080/60i	—	○ ^{注3}	○ ^{注3}
17	1035/59.94i	1080/59.94i	—	○ ^{注4}	○ ^{注4}
18	1080/50i	1080/50i	—	○	○
19	1080/30psF	1080/60i	—	○ ^{注3}	○ ^{注3}
20	1080/25psF	1080/50i	—	○ ^{注5}	○ ^{注5}
21	1080/29.97psF	1080/59.94i	—	○ ^{注4}	○ ^{注4}
22	1080/24psF	1080/24psf	—	○	○
23	1080/23.98psF	1080/23.98psf	—	○	○

注1 EMBEDDED AUDIO信号対応

注2 入力信号の垂直走査線数が483本のときは、480本で表示されます。

注3 1080/60iと見なされます。

注4 1080/59.94iと見なされます。

注5 1080/50iと見なされます。

• アナログコンポーネント信号は、Y on sync信号に対応します。

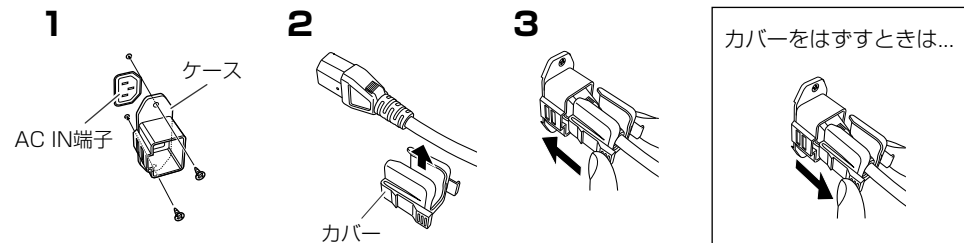
電源コードホルダーの取り付けかた

電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面にホルダーを取り付けます。

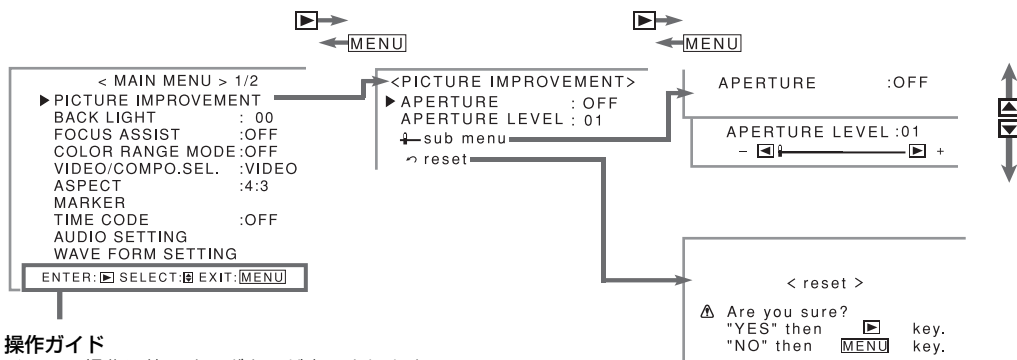
• ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。

ご注意:

- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けなどうかをご確認ください。



メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

PICTURE IMPROVEMENT

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
APERTURE ^{注1}	「APERTURE LEVEL」で補正する輝度信号の周波数を設定	OFF、LOW、HIGH
APERTURE LEVEL ^{注1}	輝度信号の周波数特性を補正	01 ~ 10
sub menu	「PICTURE IMPROVEMENT」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE IMPROVEMENT」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

BACK LIGHT 設定値: -20 ~ +20

バックライトの明るさを調節

- DYNAMICランプが点灯しているときは、メニューに表示されません。(※6ページ 8)

FOCUS ASSIST 設定値: OFF、ON

フォーカスを合わせやすい映像にする

- 「ON」にすると、PICTURE IMPROVEMENTの設定は無効になり、メニューに表示されません。

COLOR RANGE MODE 設定値: OFF、ON

液晶パネル特有の階調段差を軽減

- 「ON」にすると、液晶パネル本来の色温度になり、「WHITE BALANCE SET.」の設定は無効になります。(※14ページ)

VIDEO/COMPO. SEL. 設定値: VIDEO、COMPO.(コンポーネント)

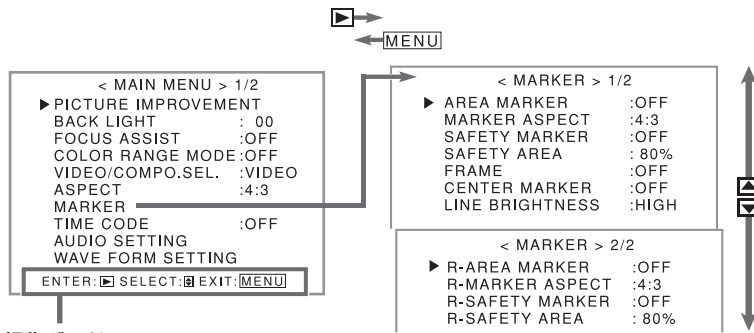
VIDEO/COMPONENT端子の入力信号にあわせて選択

- コンポーネントをえらんだときは、「PICTURE SUB ADJ.」の「COMPO. LEVEL」を設定してください。(※14ページ)

ASPECT^{注1} 設定値: 4:3、16:9

映像のアスペクト比の切換

注1 コンポジット信号入力(VIDEO)、コンポーネント信号入力(COMPO.)、SDI1入力、SDI2入力、それぞれに記憶されます。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「AREA MARKER」、「SAFETY MARKER」、「R-AREA MARKER」、「R-SAFETY MARKER」の設定

設定値と内容は以下のとおりです。

OFF	: 範囲を表示しない
LINE	: 範囲を線で表示
HALF	: 範囲外をハーフトーンで表示
HALF+L	: 範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示
BLK.	: 範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示
BLK.+L	: 範囲を線で表示し、範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示

MARKER^{注1}

マーカ機能の設定

1/2

項目名	内容	設定値
AREA MARKER ^{注2}	エリアマーカの表示/非表示、種類を選択	☑「お知らせ」
MARKER ASPECT ^{注2}	エリアマーカのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
SAFETY MARKER	セーフティマーカの表示/非表示、種類を選択	☑「お知らせ」
SAFETY AREA	セーフティマーカの範囲を設定	80% ~ 100%
FRAME ^{注3}	映像範囲の表示/非表示	OFF、ON
CENTER MARKER	映像の中央位置を示すマーカの表示/非表示	OFF、ON
LINE BRIGHTNESS	マーカの輝度を設定	HIGH、LOW

2/2

項目名	内容	設定値
R-AREA MARKER ^{注2}	エリアマーカの表示/非表示、種類を選択	☑「お知らせ」
R-MARKER ASPECT ^{注2}	エリアマーカのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
R-SAFETY MARKER	セーフティマーカの表示/非表示、種類を選択	☑「お知らせ」
R-SAFETY AREA	セーフティマーカの範囲を設定	80% ~ 100%

- エリアマーカとセーフティマーカは、正面のMARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。(☑16ページ「外部制御」)
- 4:3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカが表示されます。
- 16:9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカを表示させるときは、エリアマーカの表示を「OFF」にしてください。(☑「お知らせ」)

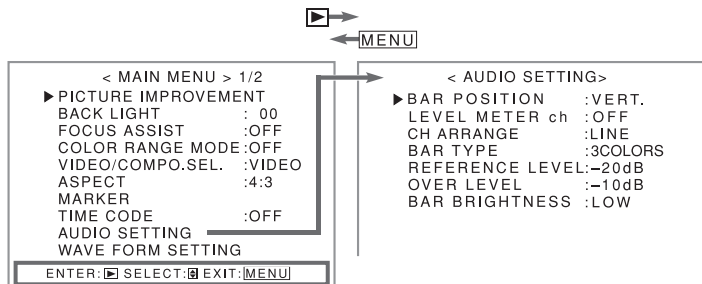
^{注1} コンポジット信号入力(VIDEO)、コンポーネント信号入力(COMPO.)、SDI1入力、SDI2入力、別々に記憶されます。

^{注2} 16:9表示のときのみ表示されます。

^{注3} NTSC、B/W60、480/60i、480/59.94iの信号を表示しているときは、上下の境界線は表示されません。

TIME CODE 設定値: OFF、ON

SDI信号に含まれている時間データ(タイムコード)の表示をオン/オフ(☑7ページ「情報表示について」)



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

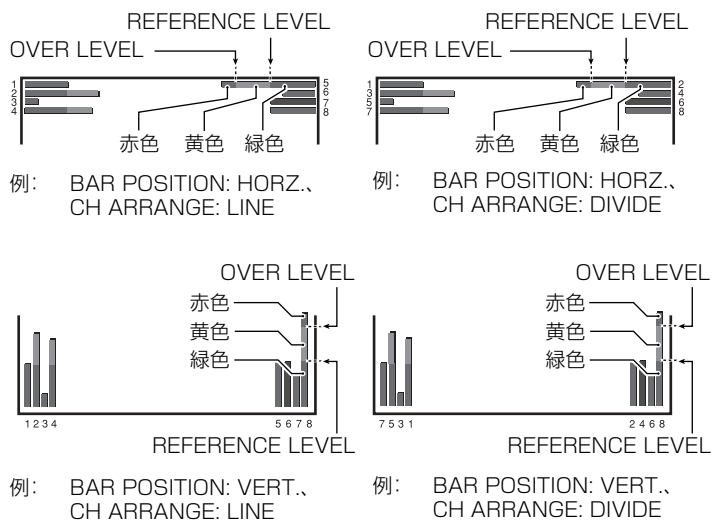
AUDIO SETTING

オーディオレベルメーターについての設定

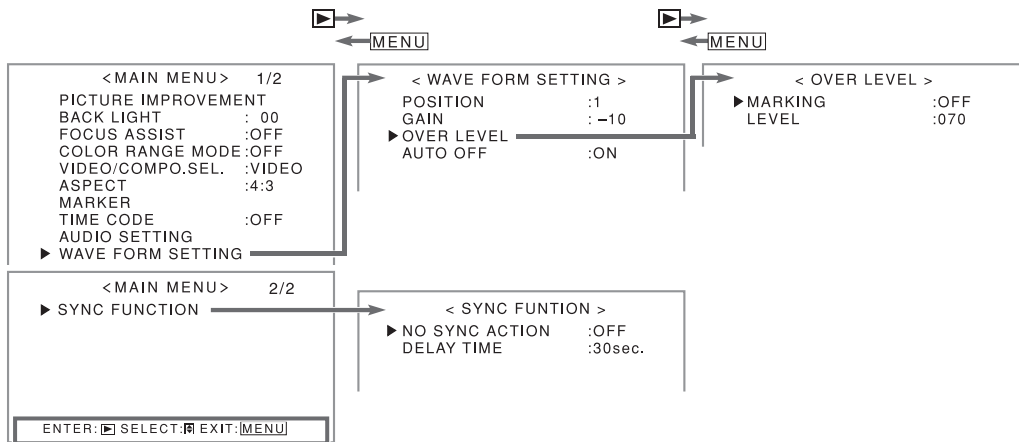
項目名	内容	設定値
BAR POSITION	レベルメーターを垂直に表示するか、水平に表示するかを選択	VERT.(垂直)、HORZ.(水平)
LEVEL METER ch	レベルメーターで表示される音声チャンネルの数を選択	OFF、12CH、8CH
CH ARRANGE	レベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択	LINE、DIVIDE(※「お知らせ」)
BAR TYPE	レベルメーターの色を設定	3COLORS(レベルに応じて色分け)、W.100(白色)、W.50(ハーフトーン)
REFERENCE LEVEL	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	-20dB、-18dB
OVER LEVEL	レベルメーターの色が「3COLORS」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	-10dB、-8dB、-6dB、-4dB、-2dB
BAR BRIGHTNESS	レベルメーターの明るさを設定	LOW、HIGH

お知らせ

レベルメーターの表示例—レベルメーター表示位置とチャンネルの関係
「LEVEL METER ch」が「8CH」で、「BAR TYPE」が「3COLORS」のときの表示例です。



- 「CH ARRANGE」を「DIVIDE」に設定すると、画面左側に奇数チャンネル、右側に偶数チャンネルが表示されます。
- 「BAR TYPE」で「W.100」または「W.50」をえらんだとき、「REFERENCE LEVEL」で設定した標準入力レベルは線で表示されます。「OVER LEVEL」で設定したレベルは表示されません。
- 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3COLORS」設定時は白、「W.100」または「W.50」設定時は灰色になります。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

WAVE FORM SETTING

波形モニターについての設定

項目名	内容	設定値
POSITION	波形モニターの表示位置を選択	1(右下)、2(左下)、3(左上)、4(右上)
GAIN	入力波形データのゲインレベルを調節	-10 ~ +10
OVER LEVEL	映像の輝度信号のオーバーレベルを設定	☞「お知らせ」
MARKING	「LEVEL」(☞下記)で設定した数値を超えた信号の波形の色を変える機能をオン/オフ	OFF, ON
LEVEL	輝度信号のオーバーレベルの下限を設定	070 ~ 109
AUTO OFF	表示されてから15分後、波形モニターが自動的に消える機能をオン/オフ	ON, OFF

SYNC FUNCTION

信号との同期についての設定

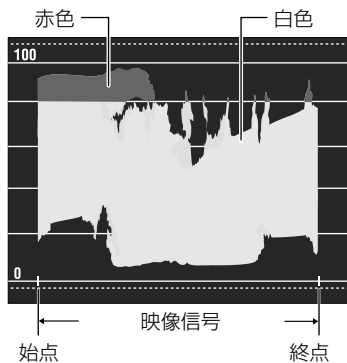
項目名	内容	設定値
NO SYNC ACTION	入力信号がないときの動作を設定	OFF、 P.SAVE(省電力モード)、 GRAY B.(灰色画面)
DELAY TIME	入力信号がなくなってから、「NO SYNC ACTION」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30sec.、5min.、15min.

- 「NO SYNC ACTION」を「GRAY B.」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「P.SAVE」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

お知らせ

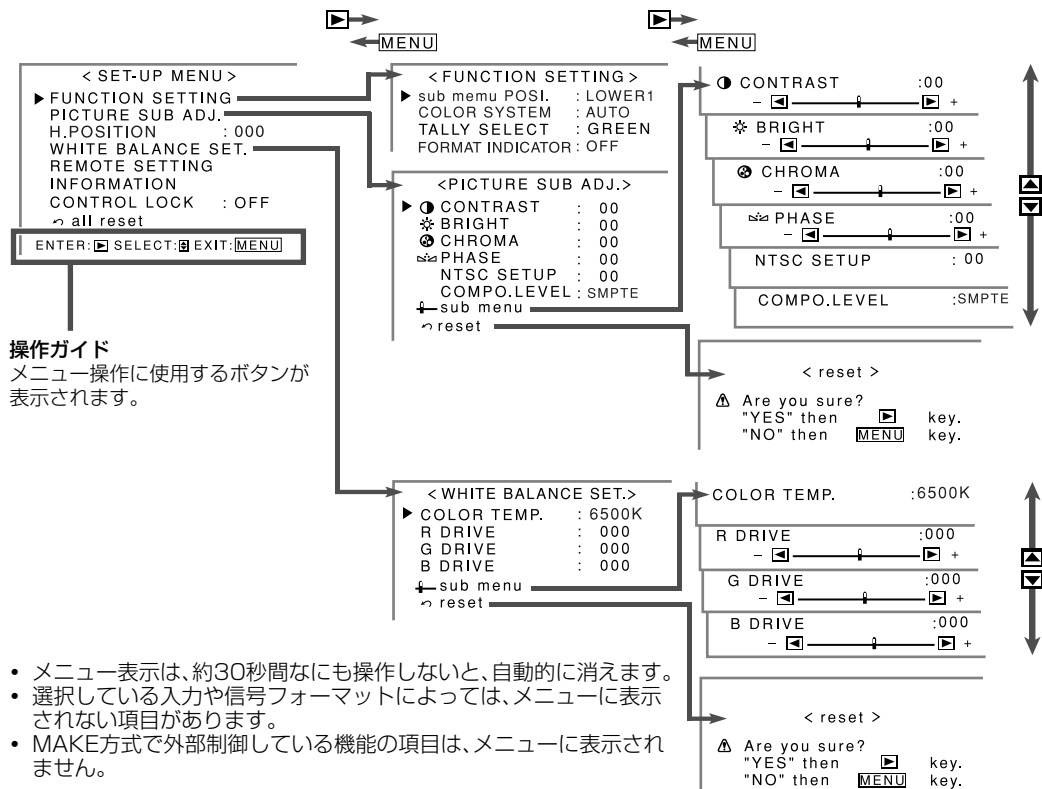
波形モニターの表示例

例: MARKING: ON, LEVEL: 080のとき



- 「LEVEL」で設定した数値を超えた信号の波形の色は、赤に変わります。

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「sub menu POSI.」の設定

設定値と内容は以下のとおりです。
LOWER1 : 現在の設定と調節バーを画面下部に表示
UPPER1 : 現在の設定と調節バーを画面上部に表示
LOWER2 : 現在の設定だけを画面下部に表示
UPPER2 : 現在の設定だけを画面上部に表示
 ・調節バーが表示されない項目もあります。

フォーマットインジケータの点灯色

「FORMAT INDICATOR」が「ON」のとき、映像入力信号にあわせて次のようにタリーランプが点灯します。
緑色: 720/60p, 720/59.94p, 720/50p, 1080/60i, 1080/59.94i, 1080/50i, 1035/60i, 1035/59.94i, 1080/24psF, 1080/23.98psF, 1080/30psF, 1080/25psF, 1080/29.97psF
赤色: 480/60i, 480/59.94i, 576/50i, 480/60p, 480/59.94p, 576/50p
オレンジ色: コンポジット信号
 ・本機で対応していない映像信号が入力されているときは、消灯します。

FUNCTION SETTING

サブメニュー表示、カラーシステム、タリーランプの点灯色、フォーマットインジケータを設定

項目名	内容	設定値
sub menu POSI.	サブメニューの表示内容と表示位置を選択	☑「お知らせ」
COLOR SYSTEM	カラーシステムを設定 ・「AUTO」で映像が安定しない場合は、「NTSC」または「PAL」に設定してください。	AUTO, NTSC, PAL
TALLY SELECT	タリーランプの点灯色を選択	GREEN, RED
FORMAT INDICATOR	タリーランプをフォーマットインジケータとして使用するかを選択	OFF, ON (☑「お知らせ」)

- 「FORMAT INDICATOR」が「ON」のときは、MAKE/TRIGGER端子のTALLY機能は無効になります。

PICTURE SUB ADJ.

映像調節の基準レベル、映像信号入力時のセットアップレベルを設定

項目名	内容	設定値
CONTRAST ^{注1}	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
BRIGHT ^{注1}	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
CHROMA ^{注1}	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
PHASE ^{注1}	正面のPHASE調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
NTSC SETUP	NTSC信号入力時のセットアップレベルを設定	00(セットアップ0%の信号)、7.5(セットアップ7.5%の信号)
COMPO. LEVEL	アナログコンポーネント信号(480i, 576iのみ)のレベルを設定	B75(BetacamVTRのセットアップ7.5%の信号)、B00(BetacamVTRのセットアップ0%の信号)、SMPTE(M2VTRからの信号)
sub menu	サブメニューを使って、「PICTURE SUB ADJ.」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE SUB ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す。(項目をえらんでリセットすることはできません)	

- DYNAMICランプが点灯しているときは、「PICTURE SUB ADJ.」はメニューに表示されません。(☑6ページ 8)

H. POSITION^{注1} 設定値: -003 ~ +003

映像の水平位置を調節

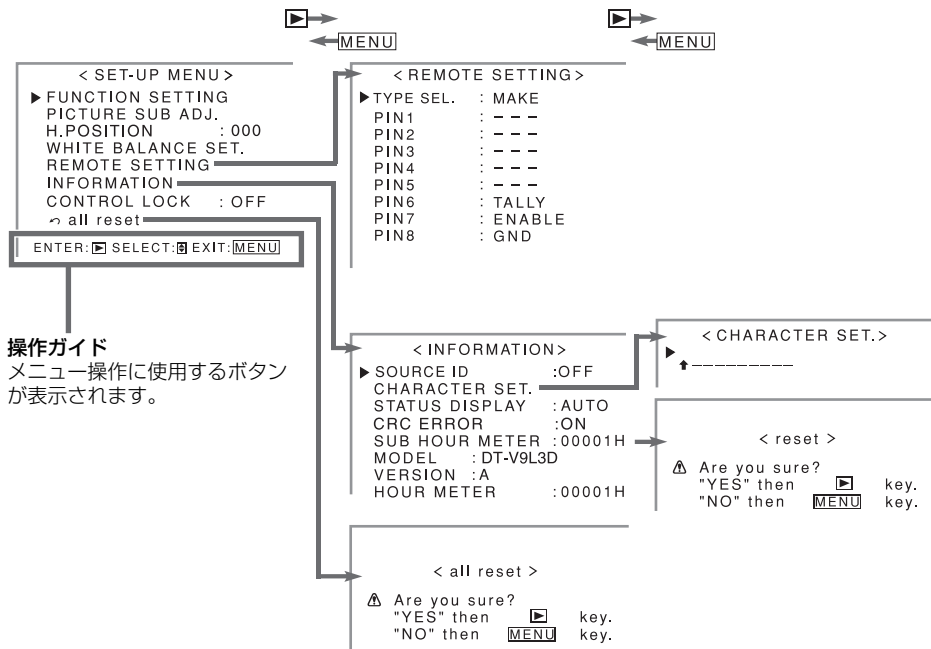
WHITE BALANCE SET.

色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベルを調節

項目名	内容	設定値
COLOR TEMP.	色温度を選択	9300K, 6500K, USER
R DRIVE, G DRIVE, B DRIVE ^{注2}	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節	MIN ~ 000 ~ MAX(256段階)
sub menu	サブメニューを使って、「WHITE BALANCE SET.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「COLOR TEMP.」で選択されている色温度のドライブレベル(R, G, B)の設定をお買い上げ時の状態に戻す。(項目をえらんでリセットすることはできません)	

- 「COLOR RANGE MODE」が「ON」のときは、「WHITE BALANCE SET.」はメニューに表示されません。(☑10ページ)

注1 コンポジット信号入力(VIDEO)、コンポーネント信号入力(COMPO.)、SDI1入力、SDI2入力、別々に記憶されます。
 注2 「COLOR TEMP.」の設定値ごとに記憶されます。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「CHARACTER SET.」の設定

入力ごとの映像ソース名を登録します。

1 映像ソース名を登録したい入力に切り換える

- コンポジット信号入力(VIDEO)とコンポーネント信号入力(COMPO.)に別の映像ソース名を登録することはできません。

2 「CHARACTER SET.」を表示させる

3 △▽ボタンを押して1文字目を入力する文字をえらぶ

- △ボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。
- ▽ボタンでは逆順に切り換わります。

→空白(スペース) → 0~9 → A~Z → a~z → &()*+,-./:<>_

4 ▷ボタンを押してカーソル(矢印)を次の文字の入力位置に移動させる

- カーソル(矢印)を移動させる前に入力した文字は記憶されます。

5 手順3、4をくり返して、最大10文字まで入力する

6 MENUボタンを押して設定を保存する



REMOTE SETTING

(※16~18ページ「外部制御」)

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
TYPE SEL.	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	MAKE, TRIGGER, SET
PIN1, PIN2, PIN3, PIN4, PIN5	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「TYPE SEL.」で「SET」をえらんで行ないます。(「PIN6」~「PIN8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。)	TALLY SEL、SDI 1、SDI 2、VIDEO/COMPO.、MARKER、FRAME、C.MARKER、MARK、SEL、ASPECT、STATUS、L.METER、TIME CODE、SOURCE ID、WAVE FORM、COLOR OFF、SCR CHECK、DYNAMIC、FOCUS ASSIST、COLOR RANGE、MUTING、--- (機能なし)

INFORMATION

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
SOURCE ID	「CHARACTER SET.」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定(※7ページ「情報表示について」)	OFF, ON
CHARACTER SET.	任意の入力映像ソース名(10文字まで)を登録RS-232C方式でも入力できます。	※「お知らせ」
STATUS DISPLAY	現在えらんでいる入力のステータスとMUTING(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(※7ページ「ステータス表示について」)	AUTO, OFF, ON
CRC ERROR	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定(※7ページ「情報表示について」)	ON, OFF
SUB HOUR METER	使用時間を表示(単位:時間) 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
MODEL	本機の型名を表示	
VERSION	本機のバージョンを表示	
HOUR METER	合計使用時間を表示(単位:時間) 本機の保守の際に確認します。 合計使用時間はリセットできません。	

CONTROL LOCK

設定値: OFF, ON

本機の操作ができないように設定

- 「ON」になっている場合でも、以下の操作は可能です。

- モニターのオン/オフ(スタンバイ)
- ▽ボタンを押しながら◀ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「CONTROL LOCK」を「OFF」にする
- 外部制御による本機の操作

これら以外の操作をすると、画面に「Control lock on!」と表示されます。

all reset

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す(リセット)

- 「HOUR METER」と正面の調節ノブによる設定はリセットされません。
- AC電源使用時は、いったんモニターがオフ(スタンバイ)になり、その後自動的にオンになります。DC 12V電源使用時は、モニターがオフ(スタンバイ)になります。

■ 外部制御の概要

本機は2種類の外部制御端子を備えています。

- **MAKE/TRIGGER端子 (RJ-45)**: 以下の2種類の制御方式から選ばれます。

① **MAKE(メイク接点)方式**

ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。(☞右記)

② **TRIGGER(トリガー)方式**

ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。(☞右記)

- **RS-232C端子 (D-sub 9ピン)**: RS-232C方式で本機を制御します。(☞18ページ)

- 外部制御中、本機の操作には、次のような優先順位があります。

MAKE方式 > TRIGGER方式 = RS-232C方式 = 本機のボタンおよびメニュー

- 「CONTROL LOCK」(☞15ページ)が「ON」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。

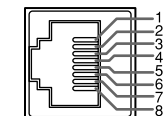
■ MAKE/TRIGGER方式での外部制御

パソコンまたはコントローラー^{注1}で本機を制御します。

^{注1} 別途制作の必要があります。

MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。

1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で割り当てることができます。(☞15ページ「PIN1、PIN2、PIN3、PIN4、PIN5」)



端子はメスです。

ピン番号	名前	ピン番号	名前
1	PIN1	5	PIN5
2	PIN2	6	PIN6 (TALLY) ^{注2}
3	PIN3	7	PIN7 (ENABLE) ^{注3}
4	PIN4	8	PIN8 (GND)

^{注2} 6番ピンはタリールンプの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)

^{注3} 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。必ずMAKE方式で制御してください。

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。
- 「FUNCTION SETTING」の「FORMAT INDICATOR」が「ON」のときは、タリールンプを外部制御できません。(☞14ページ)
- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して解放する操作により、設定が交互に切り換わります。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。

- 1 セットアップメニューを表示して、「REMOTE SETTING」をえらぶ
- 2 「TYPE SEL.」を「SET」に設定する
- 3 割り当てたい端子(「PIN1」～「PIN5」)をえらび、機能を割り当てる
 - 割り当てられる機能については、17ページの一覧表をご覧ください。

<MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
TALLY SEL	タリールランプ色選択	緑	赤
SDI 1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI 2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
VIDEO/COMPO.	入力を「VIDEO/COMPO.」に切換	無効	有効
MARKER	エリアマーカー・セーフティマーカー表示	オフ	オン
FRAME	映像範囲表示	オフ	オン
C.MARKER	センターマーカー表示	オフ	オン
MARK.SEL	「MARKER」で設定した機能の選択 ^{注4}	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
ASPECT	アスペクト切換	4:3	16:9
STATUS	ステータス表示 ^{注5}	☞7ページ「ステータス表示について」	
L.METER	オーディオレベルメーター表示	注6	
TIME CODE	タイムコード表示	オフ	オン
SOURCE ID	☞15ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」	オフ	オン
WAVE FORM	波形モニター表示 ^{注7}	オフ	オン
COLOR OFF	カラーオフ	カラー	モノクロ
SCR CHECK	スクリーンチェック	注8	
DYNAMIC	明るい場所に適した映像にする	オフ	オン
FOCUS ASSIST	フォーカスを合わせやすい映像にする	オフ	オン
COLOR RANGE	液晶パネル特有の階調段階を軽減	オフ	オン
MUTING	消音	オフ	オン
---	機能なし	—	—

注4 「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。(☞11ページ「MARKER」)

注5 現在えらんでいる入力の入力ボタンを押した場合と同じ情報が表示されます(☞7ページ「ステータス表示について」)。MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。

注6 MAKE方式では、表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは、短絡しても表示されません(「NO EFFECT」と表示されます)。TRIGGER方式では、表示される音声チャンネルの数(OFF、12CH、8CH)を切り換えます。

注7 MAKE方式では、「AUTO OFF」が「ON」のときでも、開放するまで波形モニター表示は消えません。

注8 MAKE方式では、通常の映像(開放)とB信号成分のみの映像(短絡)が切り換わります。TRIGGER方式では、次のように切り換わります。

→ 通常の映像 → R信号成分のみ
 ← B信号成分のみ ← G信号成分のみ ←

外部制御の操作

- 1 セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で「TYPE SEL.」を「MAKE」または「TRIGGER」に設定する
- 2 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
- 3 MAKE方式の場合: 各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
 TRIGGER方式の場合: 各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

■ RS-232C方式での外部制御

RS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。
※制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

<通信仕様>

ボーレート : 4800 bps
データ長 : 8ビット
パリティ : なし
ストップビット : 1ビット
フロー制御 : なし
通信コード : ASCIIコード

• D-sub9ピン型コネクタのストレートケーブル(モニター側:オス、パソコン側:メス)を使用します。

<コマンド概要>

すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

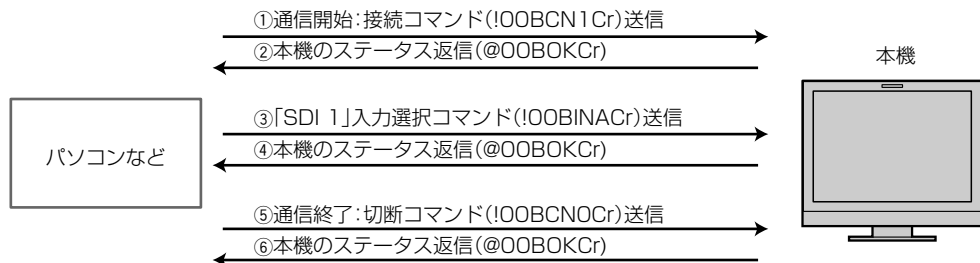
ヘッダー	本機のID(OO)	コマンドID	コマンド内容	データ内容	Cr(ODh)
------	-----------	--------	--------	-------	---------

ヘッダー

「!」: パソコンから本機への制御。詳しくは、<基本コマンド一覧>(※右記)をご覧ください。
「?」: パソコンから本機への問い合わせ
「@」: 本機からパソコンへの返信

• 通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例



<基本コマンド一覧>

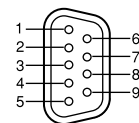
No.	コマンド	機能	データ内容
1	! 0 0 B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! 0 0 B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! 0 0 B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
4	! 0 0 B U P Cr	項目選択(Δ)	なし
5	! 0 0 B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
6	! 0 0 B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
7	! 0 0 B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
8	! 0 0 B S E T U P Cr	セットアップメニューの表示	なし
9	! 0 0 B P W 1 Cr	モニターをオン	なし
10	! 0 0 B P W 0 Cr	モニターをオフ(スタンバイ)	なし
11	! 0 0 B I N A Cr	「SDI 1」入力選択	なし
12	! 0 0 B I N B Cr	「SDI 2」入力選択	なし
13	! 0 0 B I N C Cr	「VIDEO/COMPO.」入力選択	なし
14	! 0 0 B D I S P Cr	ステータス表示 ^{注2}	なし
15	! 0 0 B V P L S Cr	音量を上げる	なし
16	! 0 0 B V M N S Cr	音量を下げる	なし
17	! 0 0 B V O L x x ^{注1} Cr	音量調節	0~30
18	! 0 0 B A M U T E x x ^{注1} Cr	消音	00:オフ、01:オン
19	! 0 0 B A S P x x ^{注1} Cr	アスペクト切換	00:4:3、01:16:9

• 「Cr」はODhです。
• 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.9)は、モニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1 「xx」にはデータ内容を入力します。

注2 現在点灯している入力のボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(※7ページ「ステータス表示について」)

<RS-232C端子の仕様>



端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

• 7番ピンと8番ピンは接続されています。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンをオンにしてください。 ■ 背面のPOWERスイッチまたはDCスイッチをオンにしてください。 ■ AC電源プラグまたはDC 12V電源プラグを確実に差し込んでください。 ■ DC 12V電源使用時は、バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。 	6 8 8 8
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正しい入力をえらんでください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	6 8 — 9
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 音量を調節してください。 ■ 消音を解除してください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 	6 6 8 —
「OTHERS」または「Out of range」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	7,9
「NO SYNC」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正しい入力をえらんでください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定など)を確認してください。 	6 8 —
色がおかしい/色がつかない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の各項目を調節してください。または「PICTURE SUB ADJ.」の設定を初期化してください。 ■ SCR. CHK.ボタンの設定を確認してください。 ■ セットアップメニューの「FUNCTION SETTING」で「COLOR SYSTEM」を正しく設定してください。 ■ セットアップメニューの「WHITE BALANCE SET.」の各項目を調節してください。もしくは設定を初期化してください。 	6, 14 6 14 14

こんなときは	こうしてください	ページ
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ■ 映像調節ノブで「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。または、セットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。 	6, 14
映像の位置がずれている、映像のサイズが合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 ■ メインメニューの「ASPECT」の設定を確認してください。 ■ セットアップメニューの「H. POSITION」で映像の水平位置を調節してください。 ■ 信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。 	7,9 10 14 —
メニューに表示されない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選択している入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。 ■ MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。 	— 16
本機で操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ セットアップメニューの「CONTROL LOCK」を「OFF」に設定してください。 ■ MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。 	15 16

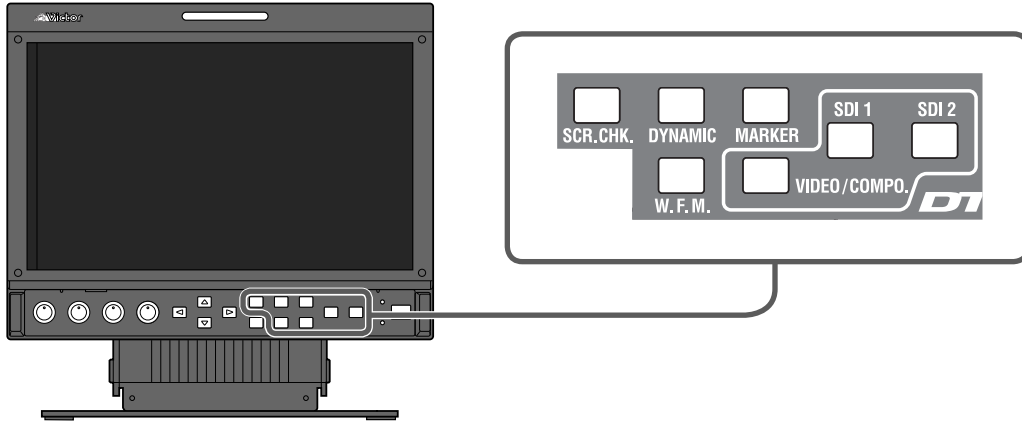
こんなときは故障ではありません

- 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
 - ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感ずる。
 - 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
 - 本機から「ミシッ」という音がする。
 - 本機の内部から動作音が聞こえる。

■ 自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、自己診断ランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。

自己診断ランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。



画面が消え、正面の自己診断ランプが点滅したら...

- 1 どのランプが点滅しているかを確認する
- 2 電源ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする
- 3 背面の電源スイッチ(POWERスイッチとDCスイッチ)をオフにする
- 4 AC電源使用時: 電源コードを抜く
DC 12V電源使用時: バッテリーを取りはずすか、DC IN端子からプラグを抜く
- 5 お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる

• 電源を切った後、すぐに電源を入れると、自己診断ランプが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含みます)。このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。自己診断ランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、19、20ページの「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品名	液晶マルチフォーマットモニター
型名	DT-V9L3D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検



●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいかししたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

■ 一般

型名	DT-V9L3D		
種類	液晶マルチフォーマットモニター		
画面サイズ	9V型ワイド		
アスペクト比	15:9		
液晶パネル	9型ワイド、IPS-Pro		
有効画面寸法	横幅:	19.5 cm	
	高さ:	11.7 cm	
表示画素数(解像度)	800×480ピクセル		
表示色数	約1677万色		
視野角(標準値)	左右:	170°	上下: 170°
パネル輝度(標準値)	350 cd/m ²		
コントラスト比(標準値)	400:1		
対応映像信号フォーマット	☞9ページ「対応信号フォーマット」		
適用規格	HD SDI: BTA S-004B、SMPTE292M SD SDI: ITU-R BT.656:525/625 SMPTE259M:525 EMBEDDED AUDIO: SMPTE299M、SMPTE272M		
音声出力	内部スピーカー: 1.0 W		
動作使用条件	温度 0℃~40℃ 湿度 20%~80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)		
使用電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz共用 または DC 12~17 V		
定格電流	0.4 A (AC 100 Vのとき) 1.7 A (DC 12~17 Vのとき)		
外形寸法(突起部除く)	横幅:	22.24 cm	22.24 cm 22.24 cm
	高さ:	21.8 cm	18.1 cm 17.6 cm
	奥行:	18.5 cm	20.2 cm 11.6 cm
		(スタンド高位置)	(スタンド低位置) (本体のみ)
質量	約 3.6 kg(スタンドを含む) 約 2.7 kg(本体のみ)		
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、電源コードホルダー×1、ネジ×2(電源コードホルダー用)、保護フィルター×1、ネジ(保護フィルター用)×4		

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

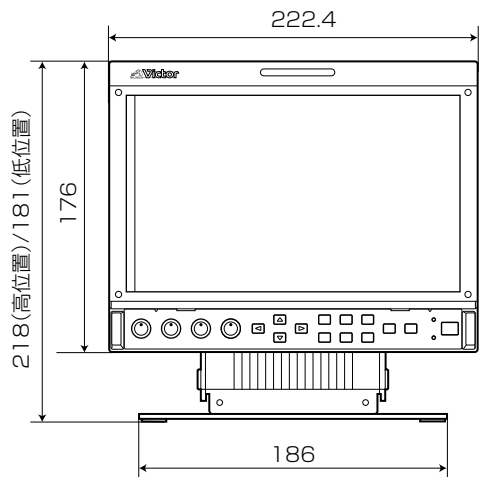
■ 入出力端子

映像	VIDEO/COMPONENT (IN/OUT)	VBS/Y コンポジット信号/アナログコンポーネント(Y)信号入出力: 1系統、BNCコネクター×2 1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端) Pb、Pr アナログコンポーネント(Pb、Pr)信号入力: 1系統、BNCコネクター×2 0.7 V(p-p)、75 Ω
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 自動検知、1系統、BNCコネクター×1
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 1系統スイッチドアウト、BNCコネクター×1
音声	AUDIO (IN)	アナログ音声信号入力: 1系統、RCAコネクター×1、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)
	EARPHONE	モノラルタイプ3.5mmミニジャック×1
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	☞16ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-232C)	☞18ページ「RS-232C方式での外部制御」

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(9V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

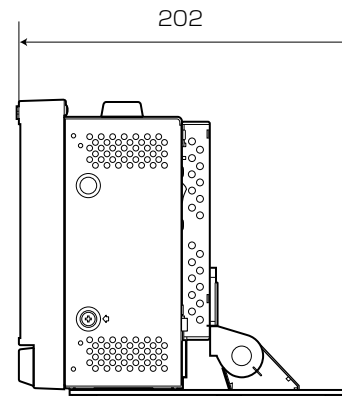
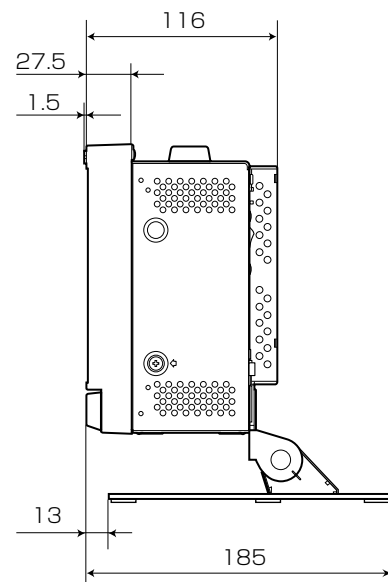
■ 外形寸法図 (単位:mm)

<正面>

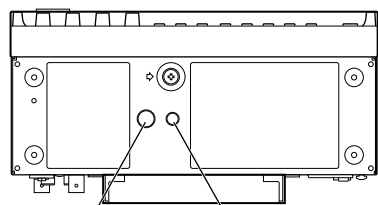
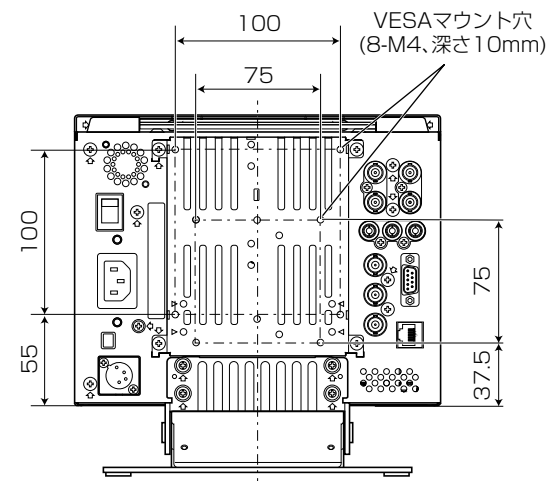


<側面>

- スタンドが高位置のとき
- スタンドが低位置のとき



<背面>



3/8インチタップ穴

1/4インチタップ穴

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。


ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、21ページをご覧ください。

修理に関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

21ページをご覧ください。

お客様ご相談センター

 **0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045) 450-8950**

FAX **(045) 450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12